

医療最前線 命を支える最新医療

ふく くう きょう か しゅ じゅつ 広まる腹腔鏡下手術

いま日本人の大腸がんは増えています。そんな大腸がん治療の現場で注目を集めているのが、腹腔鏡下手術。では、腹腔鏡下手術とはどんな手術なのでしょう。大腸部門では岐阜県唯一の日本内視鏡外科学会技術認定医として、数多くの腹腔鏡下手術を手がけている小林建司医師に聞きました。

高度な技術と経験を要する 腹腔鏡下手術とは？

松波総合病院 外科部長

小林 建司

■認定資格

日本外科学会：指導医・専門医
日本消化器外科学会：指導医・専門医
日本大腸肛門病学会：指導医・専門医
日本内視鏡外科学会：

■専門分野

直腸がんに対する機能温存手術
腹腔鏡下大腸切除術
炎症性腸疾患の外科治療
大腸がんの抗がん化学治療

技術認定(消化器・一般外科・大腸部門)
日本化学療法学会：抗菌化学療法認定医
ICD制度協議会：認定ICD
日本がん治療認定医機構：がん治療認定医



実際の腹腔鏡下手術の様子

患者さんにやさしい腹腔鏡下手術は、 さまざまな疾患に応用されています。

日本では20年前に始まった腹腔鏡下手術ですが、私たちの技術や医療機器のめざましい進歩によって、今では一般の開腹手術に匹敵する外科治療となっています。また当院では、大腸がんだけでなく、胆石、胆嚢炎、虫垂炎、胃がん、直腸がんなど、日本で行われている腹腔鏡下手術はほとんど行っていますので、外来でお気軽にご相談ください。

おなかに開けた数カ所の小さな穴から、腹腔鏡と呼ばれるカメラと手術器具を入れて、モニター画像を見ながら、がんやリンパ節を切り取ります。私たち外科医にとっては決して簡単な手術ではありませんが、手術前におなかの中を立体的に捉える3Dの血管構成画像を作成し、患者さんによって異なる血管の位置を確認しておくなど、手術をより安全に、よりスムーズに行うための準備をした上で手術に臨んでいます。

最大のメリットは、 傷が小さく、回復も早いこと。

手術の傷が小さいので痛みも少なく、早期退院、早期社会復帰が可能になります。また、おなかの中の臓器を、長時間外部の空気にさらさないため、手術後の胃腸の動きの回復が早く、癒着も少ないため、腸閉塞が起こりにくいという利点もあります。順調ならば、術後1週間ほどで退院できます。

大腸がん治療には 早期発見が何より大切です！

大腸がんは、早く見つけさえすれば怖い病気ではありません。早期の大腸がんであれば、ほとんどが内視鏡治療で治すことができます。それだけに、症状の出ないうちに内視鏡検査を受けることをおすすめします。



呼吸ケアチーム

肺炎や脳卒中など、患者さんが人工呼吸器をつけるようになった理由は様々です。呼吸器は生命をつなげる大切な装置ですが、一方で、肺炎を起こしやすい、寝たきりになりやすいなどのリスクがあります。そこで当院では、2010年3月、呼吸ケアチームが活動を開始。「より早い人工呼吸器からの離脱」、「呼吸ケアのレベルアップ」をめざして、患者さん一人ひとりの呼吸をサポートしています。



人工呼吸器の早期離脱をめざして

呼吸ケアチームとは？

メンバーは、集中治療医、呼吸器内科医師を中心に、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士で構成。病棟を巡回して、人工呼吸器を装着している患者さんの状態を診る他、安全な呼吸器の使用方法や、効率的で質の高い呼吸ケアが実践できるよう、スタッフにアドバイスを行っています。

具体的な活動内容

毎週1回、
チームで病棟を回診

毎月1回の
ミーティング

専門家を招いて
勉強会やセミナーを
開催

松波総合病院
呼吸器内科部長

小牧 千人



生命の維持に直結する人工呼吸器を安全に運用したり、呼吸器からの離脱を早めるためには、多方面からのアプローチが不可欠です。たとえば高度なシステムをもつ呼吸器を安全に操作するには、呼吸器に精通した臨床工学士が必要ですし、患者さんの筋力低下を防ぐためにはリハビリのプロ、理学療法士も必要です。また、口の中がきかないと肺炎を起こしやすいので、口の中を清潔に保つ歯科衛生士の技術も求められます。そして、患者さんを常に見守り、総合的なケアをするのが看護師で、これら多職種のを束ねるのが医師の役目です。立ち上がって間もないチームですが、呼吸ケアについてのご相談があれば、いつでもお気軽にお寄せください。

松波総合病院
救急看護認定看護師

杉原 智子



呼吸ケアチームの一員として病棟を巡回し、患者さんの呼吸管理のアドバイスをしています。チームが活動を始めて5ヶ月、各病棟で少しずつやり方が異なっていたケアを統一することで、肺炎など人工呼吸器装着による合併症の予防にも効果が出てきたと感じています。合併症を予防することは、呼吸器の早期離脱や早期退院にもつながります。これからもチーム、病棟スタッフが一体となり、患者さんが一日も早く回復し、もとの生活に戻るようサポートしていきます。

松波総合病院
臨床工学技士

平澤 孝幸



人工呼吸器の装着から離脱まで、呼吸器が医師の指示通りに動いているか、人工呼吸器の回路がきちんと接続されているかなどを点検するのが臨床工学技士の仕事です。患者さんが呼吸器を装着した当初は、鎮静を凶ってボーッとしている状態にいますが、医師と相談しながら呼吸器の設定変更を行うことで、少しずつ自分で呼吸ができるようにサポートしていきます。最後は機械がちょっとだけ呼吸の手助けをしているという状態、最終的には呼吸器からの離脱につなげていきます。

糖尿病

糖尿病予備軍をあなどるなかれ

糖尿病では血糖値が高くなってもほとんど自覚症状がないため、気づいたときには合併症が進んでしまっていることもしばしば見受けられます。糖尿病合併症には大きく分けて2つあります。1つは、細い血管がつまって引き起こされる細小血管障害で、特に網膜症、腎症、末梢神経症を3大合併症と言います。もう1つは、動脈硬化を介して太い動脈がつまって引き起こされる大血管障害で、脳卒中、心筋梗塞などの心血管障害があります。糖尿病予備軍は糖尿病ほど高血糖ではないので細小血管障害は進みませんが、この時期、大血管障害はかなり進みますので放置してはいけません。みなさんは昔、健診やドックで血糖値の異常が見つかったり、風邪でかかった先生に尿糖があるので検査するよう言われたりしたことはありませんか。せっかく糖尿病治療を早期から始めるチャンスがあっても自覚症状が無いために、ついつい先送りになってしまうことが多いものです。予備軍であれば、食事・運動療法がきわめて効果的です。本当の糖尿病に移行しないためにも早めの手当が大切です。

副院長：人間ドック健診センター長 **林 慎**

専門分野：内分泌・代謝学（糖尿病・高脂血症）
 認定資格：日本内科学会：指導医・認定医
 日本糖尿病学会：研修指導医・専門医
 日本人間ドック学会：認定医・専門医・指導医
 人間ドック健診情報管理指導士（人間ドックアドバイザー）
 日本病態栄養学会：専門医・認定NSTコーディネーター
 日本医師会認定産業医



1人前

480 kcal

八木管理栄養士が
お届けする

体にeヘルシーレシピ ヘルシー野菜シーフードカレー



松波総合病院
八木管理栄養士

<材料・2人前>

アスパラガス …… 50g (2本) カレールー …… 10g
 なす …… 50g (1/2本) カレー粉 …… 大さじ1弱
 玉ねぎ …… 100g (小1個) トマトケチャップ …… 大さじ1
 にんにく(すりおろし) …… 小さじ1・1/2 固形コンソメ …… 4g
 しょうが(すりおろし) …… 小さじ1 水 …… 400ml
 シーフードミックス(冷凍)いか・えび200g ご飯 …… 360g (1人前180g)

<作り方>

- 1 アスパラガスは3～4cmの長さに、なすは輪切りにして水に浸し、あくを抜く。玉ねぎはみじん切りにする。切ったアスパラガス、なすをフッ素樹脂加工のフライパンで軽く焼き目がつくまで焼き、いったん取り出す。
- 2 シーフードミックスはボイルして解凍しておく。
- 3 鍋に①の玉ねぎと水、コンソメを入れて火にかけ、沸騰してきたら火を弱めて①のなす、アスパラガス、シーフードミックスを入れる。
- 4 ③にカレールーを溶かし入れ、カレー粉、すりおろしにんにく及びしょうが、トマトケチャップで味を調える。
- 5 皿にご飯とカレーを盛りつける。

ここがヘルシーポイント!

市販のカレールーは脂肪が多く高エネルギーになりやすいため、このレシピではルーの使用量を通常の1/4程度に減らし、さらに材料を炒めないことで、エネルギーを約120kcal減らしています。ただし、とろみが少なくなるため、とろみが欲しい方は少々エネルギーが増えますが、じゃがいもを入れて煮崩したり、水煮トマトを入れると、とろみがつきます。

知ってトクする

富村薬剤師の



くすりの お話し

Q.

よく「薬はお水で飲んでください」と言われますが、何か理由はあるのですか？

A.

薬を水で飲むのは、薬が水に溶けて効果を発揮するように作られているからだけではなく、喉に付着して炎症を起こさないためでもあります。そのため、できる限りコップ1杯程度の水あるいは白湯で飲むようにしましょう。例えば、お酒で薬を飲むと、薬の成分が分解されて効果がなくなったり、逆に薬の分解が妨げられて思わぬ副作用が出てしまうことがあります。お酒で薬を飲むのは絶対に避けましょう。

「子どもが薬を飲むのを嫌がるので、何か甘味をつけて飲ませてあげたいんだけど…」。そんな要望にお応えして、お子様に粉薬を飲ませる時に参考となる「散剤組み合わせ表」を作成しています。ご希望の方は当院の薬剤師にお申し出ください。



第6回 岐阜南NST研究会を開催しました。

8月6日、講師に山中温泉医療センター、センター長の**大村健二**先生をお招きし、「栄養療法の実際—正しい静脈栄養について—」と題して、栄養素の代謝や正しい静脈栄養について基礎から症例を交えた内容まで大変分かりやすくご講演いただきました。出席者は、院外7施設を含め78名と多数集まり熱気のある研究会となりました。今後の栄養管理に役立てていけるようスタッフ一同、NST活動を推進していきたいと思っております。



受講者感想

すぐに診療に生かせる内容が多く、有意義に感じました。

9月の講習会・イベントのご案内

第71回 すこやかネットワーク

医療関係者向け

日時 平成22年9月15日(水) 20:00～
 場所 松波総合病院 3階講堂
 テーマ 『これって本当?～女性の一生とトラブル(その1)～』
 講師 松波総合病院 内分泌臨床研究センター長 今井 篤志 先生

第60回 開放型病床カンファレンス

医療関係者向け

日時 平成22年9月29日(水) 20:00～
 場所 松波総合病院 3階講堂
 テーマ 『不明熱の臨床』
 講師 松波総合病院 副院長 村山 正憲 先生

かかりつけ医院のご紹介

岐阜市の おざわクリニック

内科 循環器科 消化器科



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
午後 5:00～7:00	○	○	—	○	○	—

—:休診

休診日 日曜日・祝日

〒500-8263
 岐阜県岐阜市茜部新所3-54-2
 ☎ 058-274-6681
 FAX 058-272-8107

院長: 小沢 尚俊

効率よく、良質の医療水準を保つため医療連携を行っております。
 常時患者さんに安全と安心を提供したいと心掛けています。



お気軽にお問い合わせください。

☎ 058-388-0111
<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



当院は、病院内・敷地内
 全面禁煙です。
 皆様方のご理解とご協力
 お願いします。